

横浜市自動車駐車場事業費会計 会計運営計画振り返り

団	体	名	：	横浜市							
事	業	名	：	横浜市自動車駐車場事業費会計							
策	定	日	：	令和	2	年					
計	画	期	間	：	令和	2	年度	～	令和	5	年度

1. 事業目標に対する達成度

都心部の無秩序な路上駐車による交通渋滞や交通事故の防止を目的に、道路・公園の地下空間を活用した地下駐車場を6箇所整備し運営しています。 令和2年度に指定管理者制度を導入した後、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に利用台数が減少しましたが、令和3年度以降は指定管理者制度導入前より利用台数が増加しており、目標は概ね達成しています。				
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
利用台数	316,772台	293,966台	337,476台	362,650台

2. 今後の方向性

駐車場設備等の経年劣化による修繕費が増加しており、一般会計からの繰入金等で対応しています。指定管理者による運営の収支状況を踏まえて、最適な運営体制や駐車場のあり方について検討を行い、次期会期運営計画に反映していきます。

3. 投資・財政計画(収支計画)【決算ベース】

(単位:百万円)

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
区分					
歳	入 (A)	468	483	447	-
	指定管理者納付金ほか	105	113	121	-
	一般会計繰入金	363	370	326	-
歳	出 (B)	460	482	423	-
	整備保守点検費	81	82	82	-
	設備修繕工事費	49	70	86	-
	公債費	329	329	240	-
	その他	1	1	15	-
前年度からの繰越金 (C)		49	57	58	-
前年度繰上充用金 (D)		0	0	0	-
形	式 収 支 (A-B+C-D = E)	57	58	82	-
翌年度へ繰り越すべき財源 (F)		0	0	31	-
実	質 収 支 (E - F)	57	58	51	-

※令和5年度は精査中

4. 投資・財政計画(収支計画)についての説明

(1) 収支計画のうち投資についての説明

計画期間中における投資は行っていません。

(2) 収支計画のうち財源についての説明

・指定管理者から横浜市への納付金の増加につなげるため、利用料金の改定を指定管理者制度導入後、令和3年4月、8月、令和5年4月に変更しました。引き続き、利用状況や周辺駐車場の料金等を鑑み料金改定を検討していきます。
 ・市債について、令和9年度までに償還する計画通り進めています。

(3) 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

・設備等の保守点検を適切に実施しています。
 ・設備の修繕は、令和4年に策定した「道路附属物地下駐車場個別保全計画」に基づき計画的に実施しています。

5. 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

・新規整備の予定はありません。
 ・今後、想定される大規模修繕や大規模更新への対応について、指定管理者による運営の収支状況を見ながら、最適な運営体制や駐車場のあり方について検討していきます。
 ・引き続き交付金取得などの財源確保に努めます。